

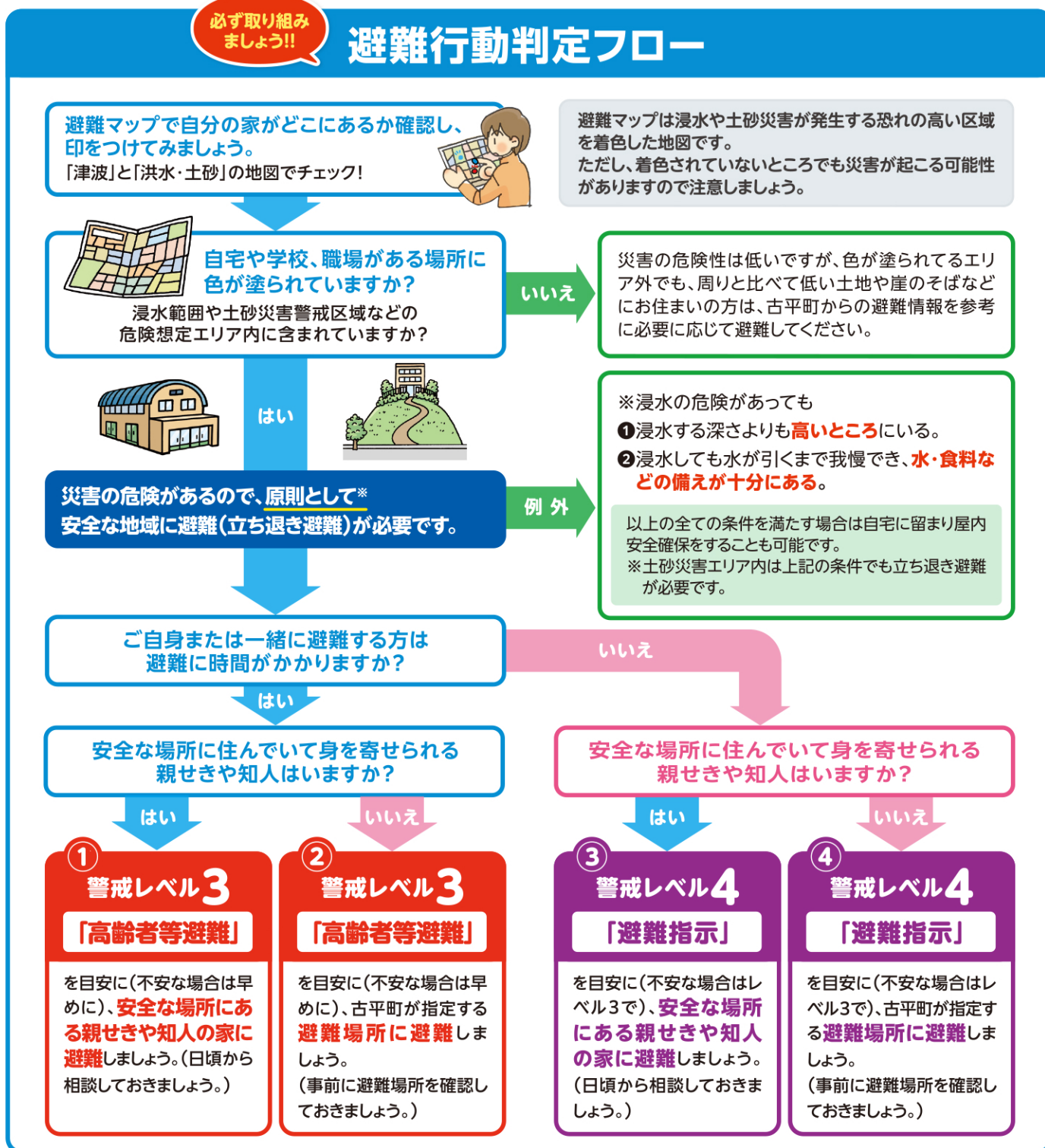
災害への備え ①

災害時の行動に対して、家族で事前に確認し避難するにはどのタイミングでどう行動すれば

おく事はとても大切です。自分たちの住んでいる所は安全なのか？ ば良いか？ 下記の内容をしっかりと確認しましょう。

▶ 災害時の避難行動を確認しましょう！

災害時に、避難行動を冷静に判断するのはなかなか難しいことです。家族全員で災害時の避難行動を下記のフローチャートを見ながら確認しましょう。



「分散避難」について

新型コロナウイルスなど、新たな感染症の拡大防止のため、避難場所の過密状態を避ける必要があります。可能な方は避難場所への避難ではなく、安全な場所にある親類・知人宅、ホテル等を事前に確保し、避難してください。また、避難場所では、車内避難となる場合もあります。

▶ あなたの家の「マイ・タイムライン」

台風や大雨による防災避難行動を時系列的に整理し、とりまとめる行動計画表です。急な判断が迫られる災害に対して、事前に家族で行動を話し合い、書き込んでおきましょう。

マイ・タイムライン 記入表		避難する場所:	
備えまでの おおよその時間	気象情報など	警戒レベル 気象情報(気象庁) 避難情報(古平町)	私の備えと行動 ※自分たちの備えと行動を考え書き込みましょう。
3日前 気象状況 悪化のおそれ	災害への心構えを 高める ・大雨や台風等の気象予報を確認する。	1 早期注意情報	今後の気象情報について注意! ・最新の防災気象情報等に注意するなど、災害への心構えを高める。
2日前 気象状況 悪化 1日前 半日前	雨や風がだんだん強くなり、川の水が増え、雨水が地面にしみ込む。 避難判断水位 ・激しい雨で河川の水が増え、河川敷にも水が流れている。 ・雨水が地面に溜まる。	2 大雨注意報 洪水注意報 氾濫注意報 等 3 大雨警報 洪水警報 氾濫警戒情報 等 高齢者等 避難	自らの避難行動を確認! ・避難マップを確認し、自宅・施設などの災害リスク、避難場所や避難経路、避難のタイミングを再確認。 ・避難情報の入手手段の確認や登録など、避難行動に備える。
0時間 災害発生 又は切迫	氾濫の危険 ・河川の水がいつぱいであふれそう。 ・崖から小石がばらばら落ちる、斜面から水が噴き出し山鳴りがするなど、土砂災害の前兆現象がみられる。 氾濫の発生 ・家に近い斜面が崩壊し、土砂が道路をふさぐ。	4 土砂災害警戒情報 氾濫危険情報 避難指示 5 大雨特別警報 氾濫発生情報 緊急安全確保	危険な場所から「高齢者等は避難」! ・高齢者等は危険な場所から避難する。 ・高齢者等以外の方も必要に応じ出勤等の外出を控えるなど普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。 危険な場所から「全員避難」! ・危険な場所から全員避難する。 ここまでで避難を完了する! 命の危険! 「直ちに安全確保」!! ・この時点で危険な場所から避難を完了していない場合はその付近で、最大限の安全確保を図ること!!
家族の集合場所 例:〇〇避難場所、知人〇〇宅		緊急連絡先 例:知人〇〇宅への連絡	

注意報・警報や避難指示等のタイミングはイメージで記載しており、実際とは異なります。